

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

所在	東京都中央区晴海 2-1-40 2F
園名	ポピンズナーサリースクール晴海

1. 活動のテーマ

<テーマ>

海

<テーマの設定理由>

海に囲まれた晴海の地域性もあり日頃の散歩で海を見に行ったり、近隣の水産加工の施設を目にして話したりする姿があり、子どもたちの関心が高い様子がうかがえます。身近にある海についての興味関心を更に深めていくため「海」というテーマを設定しました。

2. 活動スケジュール

5/30…遠足の事前準備。
6/7 …親子遠足（葛西臨海水族園）
7/11…遠足の振り返り
7/16…魚釣りゲーム
9/27…運動会
2/12…かつお節教室

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

準備物：海の生き物塗り絵、絵本、図鑑、スズランテープとバランスストーン（魚釣り用）
環境設定：塗り絵、図鑑や絵本は自由に手に取り、取り組めるように置いておく。

- ・バランスストーンを使い、海を作って、魚釣りゲームが出来るようにする。
- ・保護者と一緒に、興味関心を高められるよう親子遠足を計画、実施。
- ・身近な食材、かつお節について学びが深まるように(株)にんべんのかつお節教室に申込み、実施。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

5/30…遠足の事前準備。海の生き物のぬりえを実施。
6/7 …親子遠足で葛西臨海水族園に行く。魚の生態や、名前に興味を持ち親子で見に来る。
7/11…見てきた海の生き物を踏まえ、再度塗り絵遊び。
7/16…塗り絵で作った魚を使って、魚釣りゲーム。
9/27…運動会にて、海の生き物をテーマにした競技を実施。
2/12…かつおについて知り、かつお節教室に参加。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

・海の生き物のぬりえを用意すると「せんせい、これなに？」と指差し、生き物の名前を伝えると、「○○ってなに？」と、どんな生き物なのか尋ねる姿が見られました。図鑑で調べてみようと言をかけると、海の生き物図鑑を持って来て広げて、友だち同士で「ないね。」と言って探す姿や「○○見たことある！」と知らせる姿もあり、親子遠足後の活動では「これ遠足の時見た！」と思い出しながら楽しむ様子もありました。

・ぬりえの魚を使って、さかな釣りゲームを実施すると、釣った魚を保育者に手渡す時に、「マグロ釣れた！」「アカシユモクザメ釣れた！」など、釣った魚の名前を言う姿がありました。

・運動会では、海の生き物になりきり「できるよ！」と意欲的に全身を動かしたり、かつお節教室では、給食でも良く出てくるかつお節がどうやって出来るのかを知り、実際に体験したことで知識が深まりさらに興味関心が広がっていきました。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

遠足を経験したことをよく覚えており、以前よりも生き物の名前を言う姿が多く見られるようになった。主活動の時間だけでなく、自由遊びで絵本や魚一覧表、パズルなどを行っている際にも「遠足にいたね」など、他児とよく話しており興味が深まっているように感じられる。

本児だけでなく、クラス全体で海の生き物についての興味関心が高まっている様子なので、今後は魚達の生態（食べるもの、住んでいるところ）等にも視野を広げてエデュケアを計画し、子ども達の興味を更に深めていけるようにしていきたい。